

大東島地方の天候

2025年（令和7年）

令和8年1月30日
南大東島地方気象台

天候の特徴

- 2025年の南大東（南大東村在所）の年平均気温は高く、年降水量はかなり多く、年間日照時間は少なかった。旧東（南大東空港）では、年降水量の多い方からの極値を更新した。
- 沖縄地方の梅雨入りは5月5日ごろ（平年は5月10日ごろ）で早かった。梅雨明けは6月7日ごろ（平年は6月21日ごろ）でかなり早く、統計を開始した1951年以降、最も早かった。梅雨時期（5月～6月）の降水量は、南大東と旧東で平年の120%程度、北大東で平年の92%となった。日照時間は、南大東で平年の106%であった。
- 台風の年間発生数は27個（速報値、平年は25.1個）だった。沖縄県への年間接近数は7個（速報値、平年は7.7個）、大東島地方への年間接近数は3個（確定値、平年は3.4個）だった。

1 2025年の気温・降水量・日照時間

南大東の年平均気温の平年差は+0.2°Cで高く、年降水量の平年比は148%でかなり多く、年間日照時間の平年比は98%で少なかった。

表1-1 2025年の気温・降水量・日照時間

地点名	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
南大東	23.7	+0.2	高い	2433.0	148	かなり多い	2070.6	98	少ない

（注1）この資料で使用している平年値の統計期間は、南大東は1991～2020年、旧東及び北大東は2003～2020年です。

（注2）階級は、気象官署（南大東）のみ記載しており、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」の各階級に等しい割合で振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めています。また、値が30年間の下位または上位10%（3位まで）に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」または「かなり高い（多い）」と表現しています。

（注3）”)”付きの値は準正常値（統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている）を意味します。

（注4）”]”付きの値は資料不足値（統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている）を意味し、階級についても値と同様の品質となります。

（注5）”X”は欠測を意味しています。

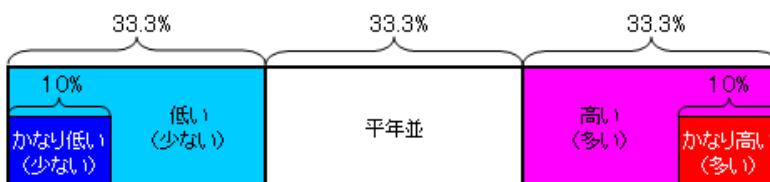


図1-1 「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」の階級

(1) 気温

年平均気温は、南大東で 23.7°C (平年差 $+0.2^{\circ}\text{C}$) と高かった。旧東は 23.8°C (平年差 $\pm 0.0^{\circ}\text{C}$) 、北大東 (北大東空港) は 24.1°C (平年差 $+0.1^{\circ}\text{C}$) だった。

月別で見ると、南大東の2月の月平均気温は、 16.9°C (平年差 -1.2°C) で、かなり低かった。旧東及び北大東の2月の月平均気温は、それぞれ 17.0°C (平年差 -1.7°C) と 17.2°C (平年差 -1.6°C) で、月平均気温の低い方からの2月としての極値を更新した。また、南大東の10月の月平均気温は、 27.7°C (平年差 $+1.8^{\circ}\text{C}$) で、かなり高かった。

南大東の最高気温は 33.4°C (6月30日) 、最低気温は 7.1°C (3月22日) だった。日最高気温 30°C 以上の年間日数は 132 日であった。

表1-2 2025年の月平均気温(上行)と平年値(下行) [単位: $^{\circ}\text{C}$]

地点名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
南大東	17.8	16.9	19.5	20.8	24.5	27.4	28.1	28.7	28.7	27.7	23.6	20.6	23.7
	18.0	18.1	19.5	21.6	24.1	26.9	28.7	28.6	27.9	25.9	23.1	19.7	23.5
旧東	18.0	17.0	19.6	20.8	24.3	27.5	28.0	28.8	28.9	27.8	23.9	21.0	23.8
	18.3	18.7	19.5	21.5	24.3	27.0	28.8	28.9	28.2	26.3	23.5	20.1	23.8
北大東	18.3	17.2	19.7	20.9	24.4	27.6	28.4	29.2	29.4	28.2	24.2	21.2	24.1
	18.5	18.8	19.6	21.6	24.4	27.1	29.1	29.2	28.5	26.5	23.7	20.3	24.0

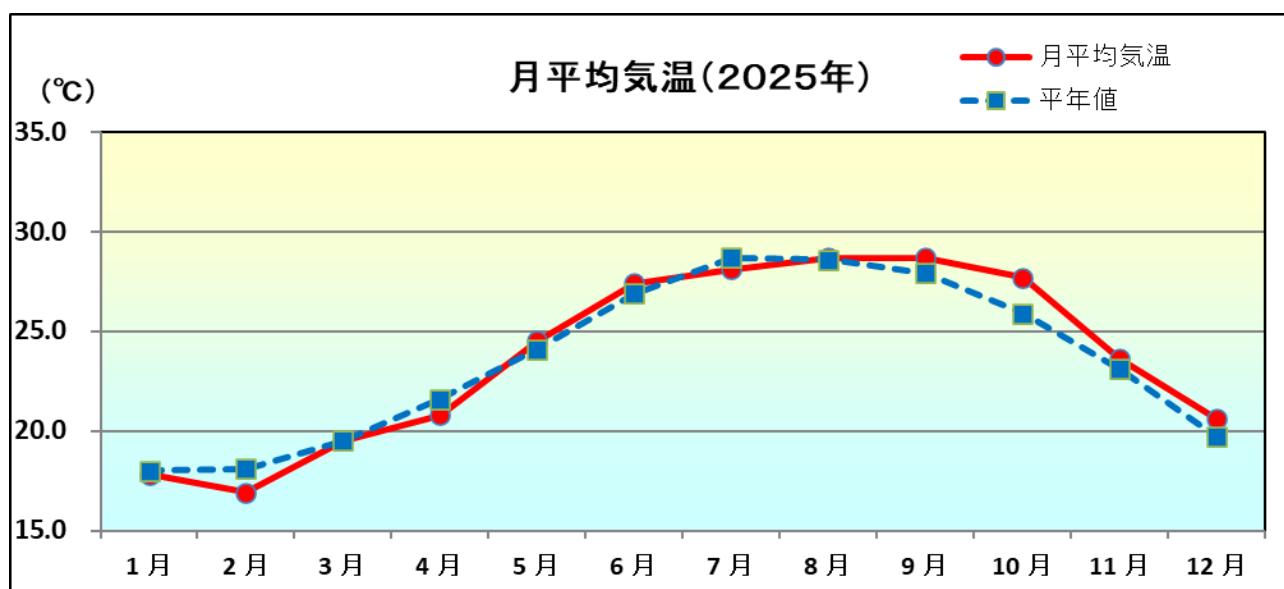


図1-2 2025年の南大東の月平均気温と平年値

(2) 降水量

年降水量は、南大東で2433.0ミリ（平年比148%）とかなり多かった。また、旧東は2256.5ミリ（平年比148%）、北大東は2197.0ミリ（平年比150%）だった。

月別で見ると、南大東の4月、5月の月降水量は、それぞれ221.0ミリ（平年比195%）と439.5ミリ（平年比198%）でかなり多かった。

7月の月降水量は、南大東は939.0ミリ（平年比796%）でかなり多く、旧東及び北大東は、それぞれ784.0ミリ（平年比794%）と918.5ミリ（平年比1157%）で、いずれも月降水量の多い方からの通年及び7月としての極値を更新した。

表1-3 2025年の月降水量（上行）と平年値（下行） [単位：mm]

地点名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
南大東	103.0	69.0	134.5	221.0	439.5	62.5	939.0	63.0	57.0	170.5	123.5	50.5	2433.0
	77.0	79.9	84.2	113.6	222.0	199.6	118.0	151.1	167.9	180.5	120.9	124.7	1639.3
旧東	91.0	67.5	132.0	205.0	461.5	63.5	784.0	70.5	59.5	169.0	97.0	56.0	2256.5
	74.1	73.7	69.7	102.7	210.4	206.3	98.7	121.4	150.1	181.0	116.8	120.2	1525.0
北大東	95.0	40.5	70.0	204.5	331.5	52.5	918.5	84.5	34.0	204.5	86.5	75.0	2197.0
	67.1	65.7	70.5	112.6	210.5	206.4	79.4	126.1	145.1	175.8	104.7	105.1	1469.0

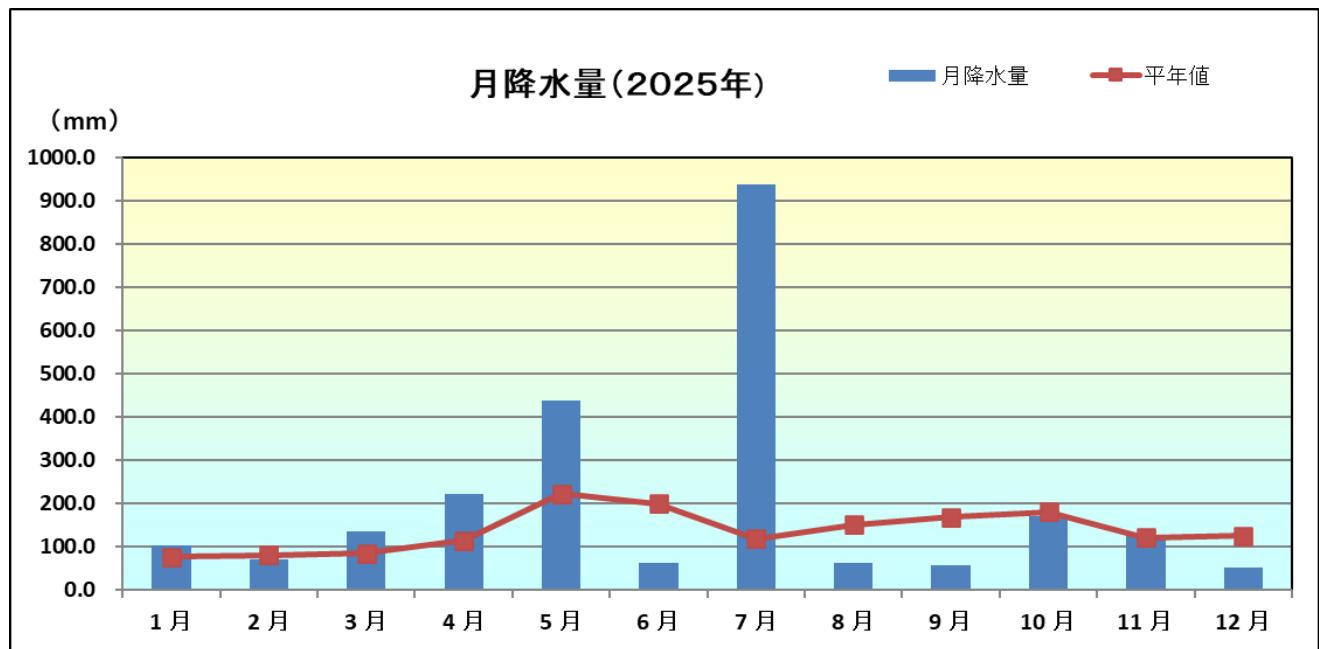


図1-3 2025年の南大東の月降水量と平年値

(3) 日照時間

年間日照時間は、南大東で2070.6時間（平年比98%）と少なかった。

月別でみると、南大東の9月の月間日照時間は、268.0時間（平年比122%）でかなり多かった。また、2月及び7月の月間日照時間は、それぞれ80.1時間（平年比67%）と144.0時間（平年比52%）でかなり少なかった。7月は、月間日照時間の少ない方からの7月としての極値を更新した。

表1-4 2025年の南大東の月間日照時間と平年値、平年比 [単位：時間]

要素	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
日照時間	103.0	80.1	164.5	169.5	140.5	272.0	144.0	275.7	268.0	196.6	131.0	125.7	2070.6
平年値	121.3	120.3	154.0	152.8	171.0	219.3	277.8	249.3	220.4	178.4	136.4	120.8	2121.7
平年比	85%	67%	107%	111%	82%	124%	52%	111%	122%	110%	96%	104%	98%

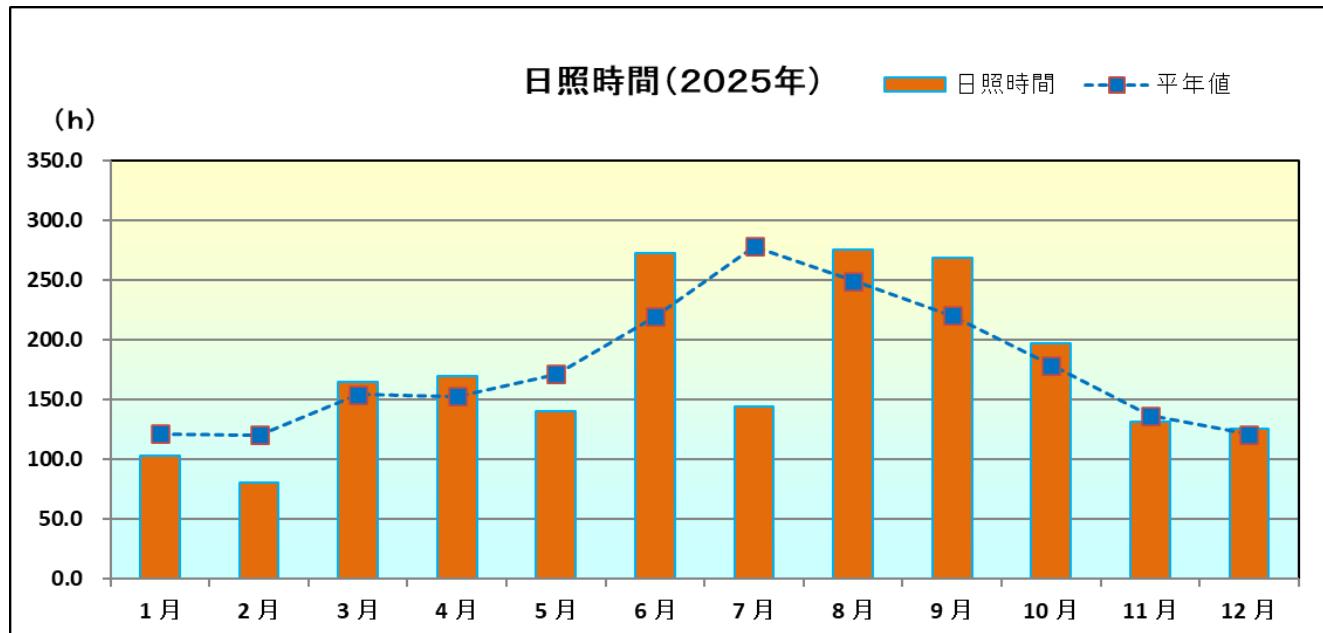


図1-4 2025年の南大東の月間日照時間と平年値

2 天候の経過

(1) 冬 (2024年12月～2025年2月)

大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日が多かったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

南大東の平均気温は低く、降水量は少なく、日照時間はかなり少なかった。

表 2-1 2024年12月～2025年2月の3か月間の平均気温・降水量及び日照時間

地点名	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
南大東	18.0	-0.6	低い	215.0	79	少ない	303.4	83	かなり少ない

(2) 春 (3月～5月)

3月から4月は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日もあった。5月は、梅雨前線や高気圧を回り込む湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。南大東の平均気温と日照時間は平年並、降水量はかなり多かった。

表 2-2 3月～5月の3か月間の平均気温・降水量及び日照時間

地点名	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
南大東	21.6	-0.1	平年並	795.0	189	かなり多い	474.5	99	平年並

(3) 夏 (6月～8月)

太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、梅雨前線や熱帯低気圧の影響で曇りや雨の日もあった。7月は、台風や熱帯低気圧などの影響で曇りや雨の日が多く、記録的な大雨となった日があったが、中旬には高気圧に覆われて晴れた日もあった。南大東の平均気温は平年並、降水量はかなり多く、日照時間は少なかった。

表 2-3 6月～8月の3か月間の平均気温・降水量及び日照時間

地点名	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
南大東	28.1	0.0	平年並	1064.5	227	かなり多い	691.7	93	少ない

(4) 秋 (9月～11月)

高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や台風などの影響で曇りや雨の日もあった。南大東の平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多かった。

表 2-4 9月～11月の3か月間の平均気温・降水量及び日照時間

地点名	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
南大東	26.7	+1.1	かなり高い	351.0	75	少ない	595.6	111	かなり多い

3 梅雨

沖縄地方の梅雨入りは5月5日ごろ（平年は5月10日ごろ）で早かった。梅雨明けは6月7日ごろ（平年は6月21日ごろ）でかなり早く、統計を開始した1951年以降で最も早い記録となった。

大東島地方では、梅雨前線や梅雨前線に流れ込む湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

梅雨時期（5月～6月）の降水量は、南大東と旧東で平年の120%程度、北大東で平年の92%となった。日照時間は、南大東で平年の106%であった。

表3-1 2025年の梅雨の時期（5月～6月）の降水量

地点	5月の降水量		6月の降水量		5月～6月（2か月間）		
	降水量（mm）	平年値（mm）	降水量（mm）	平年値（mm）	降水量（mm）	平年値（mm）	平年比（%）
南大東	439.5	222.0	62.5	199.6	502.0	421.6	119
旧東	461.5	210.4	63.5	206.3	525.0	416.7	126
北大東	331.5	210.5	52.5	206.4	384.0	416.9	92

表3-2 2025年の梅雨の時期（5月～6月）の日降水量1mm以上の日数と日照時間

地点	日降水量1mm以上の日数		日照時間	
	日数	平年値（日）	時間（h）	平年比（%）
南大東	21	20.0	412.5	106

4 台風

台風の年間発生数は27個(平年25.1個)だった。台風第1号の発生は6月11日で、1951年(昭和26年)の統計開始以降5番目に遅い発生となった。その後、7月は統計開始以降2位タイの7個が発生するなど、7月以降は平年よりも多くの台風が発生し、年間の発生数は平年並となった。沖縄県への年間接近数は7個(平年7.7個)、大東島地方への年間接近数は3個(平年3.4個)だった。

表4-1 2025年の台風発生数と沖縄県及び大東島地方への接近数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
台風発生数	0	0	0	0	0	2	7	5	6	4	3	0	27
	(0.3)	(0.3)	(0.3)	(0.6)	(1.0)	(1.6)	(3.7)	(5.7)	(5.0)	(3.5)	(2.2)	(1.0)	(25.1)
沖縄県への接近数	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1	1	0	7
	—	—	—	(0.0)	(0.4)	(0.6)	(1.5)	(2.2)	(1.9)	(1.1)	(0.3)	(0.0)	(7.7)
大東島地方への接近数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3
	—	—	—	(0.0)	(0.3)	(0.3)	(0.4)	(0.8)	(0.8)	(0.7)	(0.2)	(0.0)	3.4

(注6) 各行の上段は2025年の数、下段()内は平年値を示す。

(注7) 台風の接近とは、台風の中心が気象官署から300km以内を通過したものという。

(注8) 1個の台風が複数の月にまたがって接近する場合があるため、1月～12月の接近数の合計と年間接近数は一致しない場合がある。

(注9) 1月～3月の月間接近数の平年値にある“—”は、平年値の統計期間(1991年～2020年の30年間)に台風の接近が1個もなかったことを示す。

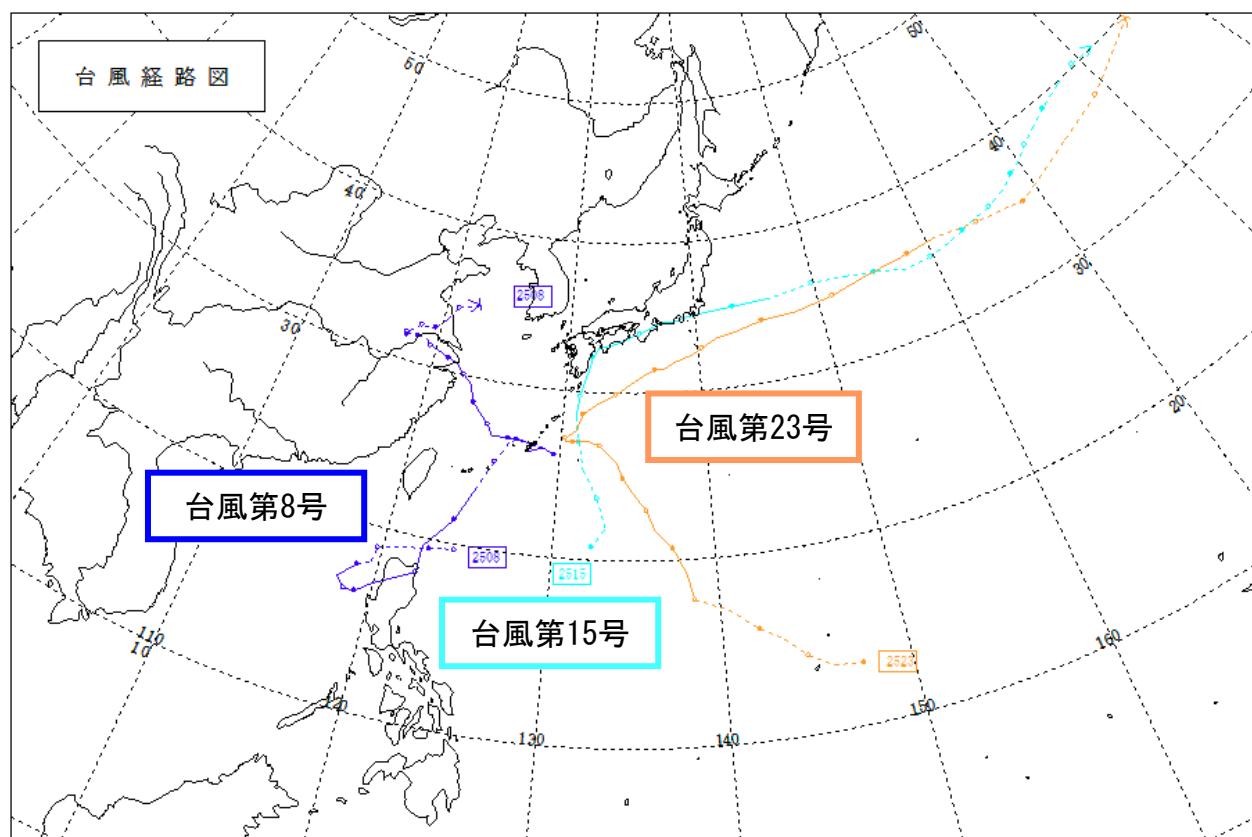


図4-1 大東島地方に接近した台風の経路図

(1)気象概況及び南大東、旧東、北大東の観測値

①台風第8号

7月23日21時に南シナ海で発生した台風第8号は、発達しながら東に進み、24日15時には中心気圧 980hPa、最大風速30m/sの勢力でルソン島の西の海上に進んだ。その後、台風は、ルソン島付近で勢力を弱めて進路を北によりに変え、沖縄の南を北上し、26日3時には宮古島地方の南の海上で熱帯低気圧に変わった。台風第8号から変わった熱帯低気圧は、26日には宮古島の近海を北東に進んだ後、沖縄本島の西の海上で進路を東に変えて進み、沖縄本島付近を通過、27日15時に沖縄本島の東の海上で再び台風となった。熱帯低気圧から再び台風となった台風第8号は、中心気圧 990hPa、最大風速 20m/sの勢力を維持しながらほとんど停滞した後、28日は進路を西によりに変え、沖縄本島を通過した後、29日から30日にかけて東シナ海を北西に進み、華中へ上陸して31日09時に熱帯低気圧に変わった。

表4-2 台風第8号の観測値（期間：2025年7月25日～2025年7月30日）

	南大東	旧東	北大東
最低海面気圧 起時	994.3 hPa 7月28日03時16分	—	—
最大風速 起時	南南東 11.9 m/s 7月27日14時07分	南東 13.2 m/s 7月27日22時20分	南東 20.9 m/s 7月27日23時20分
最大瞬間風速 起時	南南東 20.2 m/s 7月27日19時26分	南南東 20.1 m/s 7月27日23時14分	南東 25.2 m/s 7月27日23時13分
期間降水量	614.5 mm	510.5 mm	543.5 mm

②台風第15号

9月2日21時に日本の南で発生した熱帯低気圧は、9月3日には大東島地方の東海上を北上し、4日3時に奄美大島の東の海上で台風第15号となった。台風はやや発達しながら北上し、4日21時には進路を東によりに変え、暴風域を伴わないまま、5日には愛媛県に上陸した後、和歌山県に再び上陸し、東日本の太平洋沿岸を東に進み、日本の東に達した。

表4-3 台風第15号の観測値（期間：2025年9月4日）

	南大東	旧東	北大東
最低海面気圧 起時	1005.5 hPa 9月4日02時19分	—	—
最大風速 起時	西南西 7.9m/s 9月4日04時27分	南南西 8.3m/s 9月4日12時34分	南南東 9.5m/s 9月4日23時46分
最大瞬間風速 起時	西南西 12.0m/s 9月4日04時19分	南西 11.3m/s 9月4日07時44分	南西 11.8m/s 9月4日04時56分
期間降水量	1.0 mm	0.0 mm	0.5 mm

③台風第23号

10月8日15時にフィリピンの東で発生した台風第23号は北西に進み、暴風域を伴わないまま、10日には南大東島の東海上を通り、沖縄本島地方の東海上に進んだ。台風は、11日には進路を北東に変えて進み、13日0時には四国南で中心気圧 975hPa、最大風速 35m/sの強い勢力となった。台風は勢力を維持しながら伊豆諸島に接近し、14日に日本のはるか東に進んだ。

表4-4 台風第23号の観測値（期間：2025年10月9日～2025年10月11日）

	南大東	旧東	北大東
最低海面気圧 起時	1003.1 hPa 10月10日22時18分	—	—
最大風速 起時	南南西 19.5 m/s 10月10日22時26分	南南西 17.9 m/s 10月10日22時29分	南南西 19.3 m/s 10月10日22時43分
最大瞬間風速 起時	南西 28.2 m/s 10月10日22時19分	南西 25.7 m/s 10月10日22時24分	南南東 26.7 m/s 10月10日21時55分
期間降水量	124.0 mm	139.0 mm	132.0 mm

5 統計開始からの記録更新表（南大東、旧東、北大東）

（1）月の統計値に関する統計開始からの記録更新

月の統計値に関する統計開始からの記録更新（歴代1位のみ）は以下のとおり。

なお、「月降水量の少ない方から」、「月平均気温の高い方から」、「月間日照時間の多い方から」の記録更新はなかった。

表5-1 月平均気温の低い方から

月	地点名	気温（°C）	平年差（°C）	これまでの最小（°C）	統計開始	平年値（°C）
2月	旧東	17.0	-1.7	17.3（2008年）	2003年2月	18.7
2月	北大東	17.2	-1.6	17.4（2008年）	2003年2月	18.8

表5-2 月最大24時間降水量

月	地点名	観測値(mm)	観測日	これまでの最大(mm)	統計期間
7月	南大東	382.5	7月27日	203.5（1949年7月16日）	1946年7月

表5-3 月間日照時間の少ない方から

月	地点名	日照時間（時間）	平年比（%）	これまでの最小（時間）	統計開始	平年値（時間）
7月	南大東	144.0	52	181.4（1999年7月）	1943年7月	277.8

表5-4 年間の記録

地点名	要素	観測値	観測月	これまでの記録	統計開始
南大東	月降水量の多い方から	939.0	7月	844.0mm（1969年6月）	1942年2月
旧東	月降水量の多い方から	784.0	7月	550.5 mm（2011年9月）	2003年1月
北大東	月降水量の多い方から	918.5	7月	578.5 mm（2022年5月）	2003年1月

(2) 日統計値に関する統計開始からの記録更新

日の統計値に関する統計開始からの記録更新（歴代1位のみ）は以下のとおり。

なお、「日最低海面気圧」、「日最高気温の低い方から」、「日最小相対湿度」、「日最大風速・風向」及び「日最大瞬間風速・風向」の記録更新はなかった。

表5-5 日降水量

月	地点名	観測値 (mm) 及び観測日	これまでの最大 (mm)	統計期間
7月	南大東	312.5 (7月27日)	194.3 (1944年7月29日)	1942年7月
3月	旧東	102.5 (3月28日)	50 (2005年3月11日)	2003年3月
7月	旧東	230.0 (7月27日)	112.0 (2016年7月7日)	2003年7月
3月	北大東	52.5 (3月28日)	47.5 (2022年3月23日)	2003年3月
7月	北大東	205.0 (7月27日)	107.0 (2012年7月17日)	2003年7月

表5-6 日最大10分間降水量 “*”はタイ記録を示す

月	地点名	観測値 (mm) 及び観測日	これまでの最大 (mm)	統計期間
4月	旧東	15.5 (4月1日)	12.5 (2024年4月27日)	2009年4月
5月	旧東	21.5 (5月1日)	18.0 (2020年5月18日)	2009年5月
7月	旧東	22.0 (7月27日)	18.0 (2016年7月7日)	2009年7月
7月	北大東	21.0* (7月17日)	21.0 (2015年7月19日)	2009年7月

表5-7 日最大1時間降水量

月	地点名	観測値 (mm) 及び観測日	これまでの最大 (mm)	統計期間
3月	旧東	38.5 (3月28日)	32.5 (2017年3月2日)	2003年3月
4月	旧東	38.0 (4月18日)	31.5 (2010年4月9日)	2003年4月

表5-8 日最高気温の高い方から “*”はタイ記録を示す

月	地点名	観測値 (°C) 及び観測日	これまでの最大 (°C)	統計期間
10月	南大東	33.1 (10月6日)	33.0* (2015年10月2日)	1942年10月
6月	旧東	33.6 (6月28日)	33.0* (2020年6月30日)	2003年6月
10月	旧東	32.7 (10月1日)	32.4 (2021年10月1日)	2003年10月
6月	北大東	33.4 (6月30日)	33.2 (2024年6月30日)	2003年6月
10月	北大東	33.4 (10月9日)	33.0 (2023年10月3日)	2003年10月

表5-9 日最低気温の高い方から “*”はタイ記録を示す

月	地点名	観測値 (°C) 及び観測日	これまでの最大 (°C)	統計期間
10月	南大東	28.0 (10月7日)	27.9 (2017年10月9日)	1942年10月
10月	旧東	27.8* (10月7日)	27.8 (2017年10月9日)	2003年10月
10月	北大東	28.5 (10月7日)	28.3 (2016年10月5日)	2003年10月

表5-10 日最低気温の低い方から

月	地点名	観測値 (°C) 及び観測日	これまでの最大 (°C)	統計期間
5月	旧東	15.5 (5月3日)	15.8 (2022年5月3日)	2003年5月
6月	旧東	17.6 (6月5日)	19.1 (2011年6月1日)	2003年6月
3月	北大東	9.7 (3月22日)	9.9 (2004年3月5日)	2003年3月
5月	北大東	15.1 (5月3日)	15.9 (2008年5月21日)	2003年5月
6月	北大東	18.3 (6月5日)	20.0* (2024年6月2日)	2003年6月

表5-11 年間の記録

地点名	要素	観測値	観測日	これまでの記録	統計期間
北大東	日最大1時間降水量	88.0 mm	7月17日	74.0 mm (2021年6月21日)	2003年1月

(3) 年の統計値に関する統計開始からの記録更新

年の統計値に関する統計開始からの記録更新（歴代1位のみ）は以下のとおり。

なお、「年降水量の少ない方から」、「年平均気温の高い方から」、「年平均気温の低い方から」、「年間日照時間の多い方から」及び「年間日照時間の少ない方から」の記録更新はなかった。

表5-12 年間の記録

地点名	要素	観測値	平年比	これまでの記録	統計期間
旧東	年降水量の多い方から	2256.5 mm	148%	2112.5 mm (2012)	2003年

(4) 猛暑日、真夏日等の年間日数

南大東の「日平均気温25°C以上年間日数」、「日最高気温30°C以上（真夏日）の年間日数」、「日最高気温35°C以上（猛暑日）の年間日数」、「日最高気温25°C以上年間日数」、「日最低気温25°C以上年間日数」、「日最低気温25°C以上の日の年間日数」及び「日最高気温30°C以上の日（真夏日）の年間日数」の記録更新はなかった

6 生物季節観測

南大東島の生物季節の観測は、さくら（ひかんざくら）の開花と満開、すすきの開花を対象としている。2025年の観測は以下のとおり。

さくら（ひかんざくら）の開花は、最晩日を更新した。さくら（ひかんざくら）の満開は、観測されなかった。

表6 2025年の生物季節観測

観測場所	種別	現象	2025年	平年値	2024年	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
南大東島	さくら（ひかんざくら）	開花	3月 3日	1月 20日	2月 16日	+42	1月 4日	2月 16日
南大東島	すすき	開花	11月 4日	10月 24日	10月 28日	+11	9月 18日	11月 13日

(注10) 発現平年差の“－”は平年に比べて発現が早く、“＋”は平年に比べて発現が遅いことを示す。

(注11) 最早日、最晩日が更新された場合の「最早日」「最晩日」欄は、従来の最早日、最晩日とする。